



JASDAQ

平成 29 年 6 月 14 日

各 位

会社名 アストマックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 本多 弘明  
(JASDAQ スタンダード・コード 7162)  
問合せ先 常務取締役 小幡 健太郎  
(電話 03-5447-8400)

### 平成 30 年 3 月期 5 月度の月末運用資産残高のお知らせ

平成 30 年 3 月期 5 月度の概況及び月末運用資産残高につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

当月のコモディティ市場は、アストマックス商品指数 (AMCI) が前月末比 0.38% 下落、CRB 指数は 1.07% 下落で推移しました。

株式市場は、TOPIX が前月末比 2.39% 上昇、S&P500 が 1.16% 上昇、ユーロ・ストックス 50 指数が 0.14% 下落、MSCI AC Asia Pacific 指数が 2.56% 上昇で各々推移しました。

ヘッジファンド市場は HFRX Global Hedge Fund 指数が前月末比 0.24% 上昇で推移しました。

当月の当社グループが運用する資産残高は、377,941 百万円 (前月比 1,783 百万円 (0.47%) 減少) となりました。

#### 【運用資産残高】

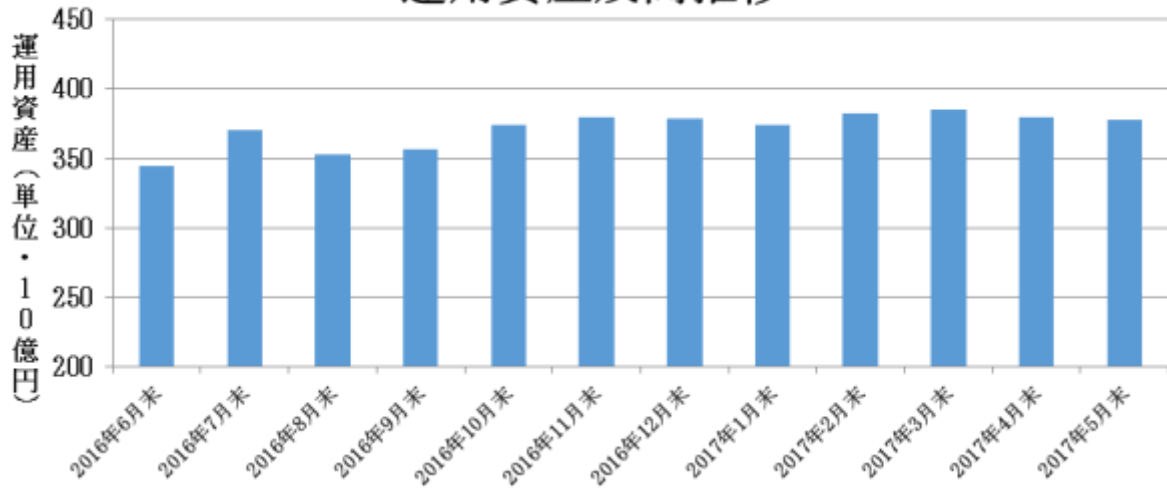
(単位：百万円)

| アセット・<br>マネジメント事業 | 平成 29 年<br>4 月 | 平成 29 年<br>5 月 | 平成 29 年<br>6 月 | 平成 29 年<br>7 月 | 平成 29 年<br>8 月 | 平成 29 年<br>9 月 |
|-------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 商 品               | 466            | 463            |                |                |                |                |
| 証 券               | 379,258        | 377,478        |                |                |                |                |
| 合 計               | 379,725        | 377,941        |                |                |                |                |

| アセット・<br>マネジメント事業 | 平成 29 年<br>10 月 | 平成 29 年<br>11 月 | 平成 29 年<br>12 月 | 平成 30 年<br>1 月 | 平成 30 年<br>2 月 | 平成 30 年<br>3 月 |
|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| 商 品               |                 |                 |                 |                |                |                |
| 証 券               |                 |                 |                 |                |                |                |
| 合 計               |                 |                 |                 |                |                |                |

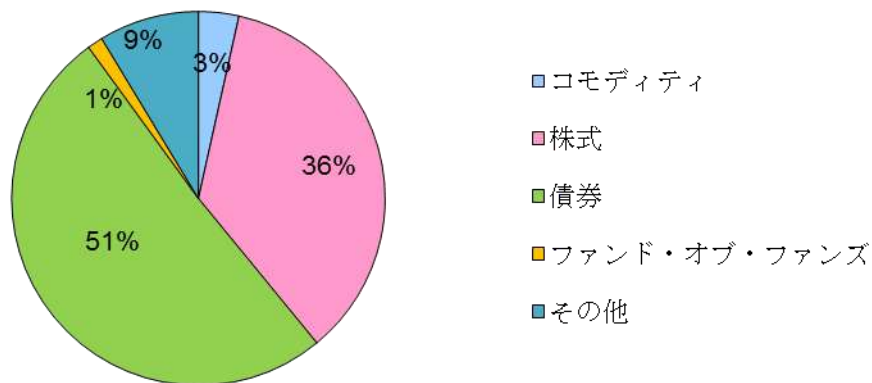
- (注) 1. 上記の数値は、原則毎月第 10 営業日までに開示いたします。  
2. 上記の数値は、概算値を含んでおります。  
3. 概算値は翌月以降、確定次第確定値に変更いたします。

## 運用資産残高推移



(※) 国内外投資信託に係る運用は純資産総額ベース、それ以外の運用は契約資産ベースでの記載としております。

## 運用資産別配分



(※) 上記パイチャートは実質的投資先での区分に基づいており、「運用資産残高」一覧の契約による区分に基づく数字とは異なります。

以上